

トム・ソーヤー冒険隊



日時 2024年3月27日(水)～4月4日(木)

場所 鶴学園八千代校舎
(安芸高田市八千代町土師大迫 11144-1)

主催 トム・ソーヤー冒険隊

共催 NPO法人 晴れ時々アドベンチャー

協力 西山・カレッジ

目次

実施要項	P 2
主催者 トム・ソーヤー冒険隊の紹介	P 3
プログラム	P 4
個人装備一覧	P 5～6
指導法・安全およびインストラクター・生活について	P 7
安全・健康管理	P 8～9
傷害保険について	P 10
参加費について	P 11
キャンプへの参加に係る同意事項について	P 12
集合・解散	P 13
その他	P 14
安全と団体活動のルール	P 15
連絡先一覧	P 16

実施要項

1. 目的

豊かな自然の中で、長期にわたる共同生活をおこない、様々な生活体験や、自然体験そして、遊びなどの直接体験をとおして、忍耐力、自立心、社会性、協調性などを培うとともに、参加者とスタッフが共成し「生きる力」を育む。

2. 日時、場所

3月27日（水）～ 4月4日（木） 冒険本番 （鶴学園八千代校舎ほか）

3. 学習内容

野外炊事、プロジェクトアドベンチャー、ネイチャーゲーム手法による森や自然の学習、冒険の森づくり、ツリーハウス体験、冒険セミナー、木登り・ネイチャークラフト・アウトドア料理・サイクリングなどのフリーセミナー

長距離チャレンジウォークなどによる冒険の旅、各種野外技術の修得など

※実施内容は、安全面や天候などによる事情により多少変更が生じる可能性があります。

4. 対象

4月から新小学4年生～新中学3年生の児童生徒
定員 64名 （学年ごと先着順）

5. 参加費

63,800円

6. 主催

トム・ソーヤー冒険隊

7. 共催

NPO法人 晴れ時々アドベンチャー

8. 後援

広島県教育委員会 広島市教育委員会

主催者 トム・ソーヤー冒険隊の紹介

今年の夏に37回を迎えるキャンプがあります。「ほっぷ すてっぷ きゃんぷ」という自然体験活動で、子ども達と恵まれた自然の中で一週間過ごします。そのスタッフと、キャンプが大好き、もっと子ども達と冒険をしたい仲間と、2005年トム・ソーヤー冒険隊という団体をつくりました。

春休みに楽しめる野外での企画が少ないため、19年前から団体名と同じ「トム・ソーヤー冒険隊」という長期の自然生活体験・冒険体験事業を始めました。今年も、社会人・大学生スタッフ約50名で運営していきます。

【主なスタッフの指導実績】

1987年～現在（36回）

・安芸青年ホール主催 6泊7日 ほっぷ すてっぷ きゃんぷ プロデューサー

1988年～1993年

・広島市教育委員会主催 10泊11日 無人島自然生活体験 指導スタッフ

1992年～1997年

・広島ホームテレビ主催 春休み洋上セミナー少年少女の船 指導スタッフ

2000年～現在

・広島アウトドア研究会主催 7泊8日 パイオニアキャンプ プログラム指導

2003年～2006年

・広島県教育委員会の受託事業として、広島県立吉田少年自然の家の年間事業の企画・運営を担当。幼児から大人までを対象に11事業を開催。

2004年～2013年

・テレビ新広島 わんぱく大作戦 カヌーキャンプ、牧場体験ツアー、農業体験、自然体験ツアー、わんぱくスキー 各ディレクター

プログラム

日時	午前	午後	夜
1日目：名前を覚える アイスブレイク まずは友達になろう	広島駅北口集合 出発式、バス移動 アイスブレイク	オリエンテーション 仲間になるゲーム活動 基地づくり	トム・デ・ピック 1日のふりかえり
2日目：班の協力 基本的な生活術を学ぶ	朝の集い・掃除・洗濯 基地づくり	基地づくり	トム・デ・ピック 1日のふりかえり
3日目：創造性を養う	朝の集い・掃除・洗濯 基地づくり	基地づくり	トム・デ・ピック 1日のふりかえり
4日目：学ぶ、楽しむ フリーセミナー	朝の集い・掃除・洗濯 フリーセミナー	フリーセミナー	トム・デ・ピック 1日のふりかえり
5日目：お互いを知る 自分と仲間の力を試す	朝の集い・掃除・洗濯 サイクリング体験 チャレンジプログラム	サイクリング体験 チャレンジプログラム	トム・デ・ピック 1日のふりかえり
6日目：目標に向けて意 識する（絆を大切に忍 耐力を培う）	朝の集い・掃除・洗濯 チャレンジプログラム	チャレンジプログラム	1日のふりかえり
7日目：グループでの達 成感 限界に挑戦	朝の集い・掃除・洗濯 チャレンジプログラム	チャレンジプログラム	1日のふりかえり
8日目：パフォーマンス 自己表現を向上させる	朝の集い・掃除・洗濯 おまつり準備	トム・デ・ピック 最終	おまつり 1日のふりかえり
9日目 また会いましょう！	朝の集い・掃除・洗濯 撤収作業	現地発バス移動 広島駅北口解散式	

プロジェクトアドベンチャーについて。人は様々な「気づき」を経て成長していきます。人が成長するためには「信頼関係」がなにより大切で、信頼関係づくりはチームビルディングでもあります。信頼関係は学習の環境としても最も大切なもので、気持ちが開けられただけでは、成長のための「気づき」は生まれません。時には、自分の限界を超える挑戦をすることも成長のためには必要です。そのような挑戦をささえてくれる仲間の存在であり、「気づき」を成長に導くのがPAプログラムです。仲間を強く感じるようなプログラムを活用して運営していきます。尚、プロジェクトアドベンチャーの詳細は、<http://www.pajapan.com/>でご覧いただけます。

個人装備一覧

NO	品名	数量	チェック
1	着替え	3日分	
2	防寒着（フリース等を含む）	1	
3	寝間着用寝巻き上下（ジャージでも可能）	1	
4	下着	5日分	
5	靴下	5日分	
6	靴（予備用の靴）	1	
7	軍手（木綿の物に限る）	2	
8	雨カッパ	1	
9	折りたたみ傘	1	
10	水筒	1	
11	帽子	1	
12	ヘッドライト式懐中電灯（予備電池を含む）	1	
13	洗面用具	1式	
14	タオル	4	
15	バスタオル	1	
16	買い物用ビニール袋	5	
17	洗濯ばさみ	5	
18	針金ハンガー	3	
19	ハンカチ or ハンドタオル	3	
20	ちり紙（ポケットティッシュ）	3	
21	ナップサック・デイバック（冒険の旅に使用）	1	
22	食器（ご飯・おかず・スープ用3点セット） コップ・スプーン・箸	1式	
23	筆記用具	1式	
24	マスク	10枚以上	
25	洗濯用ネット（大きめなもの）	1	
26	水着	1	
27	上履き（スリッパは不可）	1	
28	お弁当1日目の昼用：使い捨ての容器で準備下さい。	1	
29	保険証の写し（封筒に入れてお子様のカバン内の の分かりやすいところに保管してください）	1	
30	* 常備薬	* 1式	
31	* 生理用品	* 適量	

※個人物品には必ず記名してください。
 ・ゲーム機、スマートフォン等の携帯電話、カメラ、お金、お菓子などはNGです。
 *は必要な人だけ

個人装備についての説明

1. 期間中、たくさんの落し物が出ます。しかしながら、誰のものだか判明せず、最終的には、処分をするものがたくさんあります。個人装備には、すべて名前を書かせ、参加をされるお子様と一緒に準備をして、自分の持ち物の意識をしっかりとらせてください。
2. 下着の中に1枚乾きやすい化繊のものがあると便利だと思われます。(長距離チャレンジウォーク等で使用。)
3. 主に外での活動をしますので、汚れてもいい服を準備してください。
4. 雨天時でも、決行される冒険セミナーがあります。雨カップと傘は、必ず両方準備してください。
雨カップは、セパレートタイプのものが適しています。
5. ナップサック(デイバック)も、野外活動全般に使用します。1日分の着替え、雨合羽、水筒、お弁当等が入る大きさのものをご持参ください。
6. 活動期間中の食器は、アルミやステンレスまたは、セラミック製のものが適しています。100円ショップなどにも、たくさん取り揃えています。また、キャンプの専門店などには、コンパクトな3点セット(ご飯用・汁物用・おかず用)のものも販売されています。)
7. 入浴用の石けんや、シャンプー、洗濯石けんは、環境や人体にやさしいものを主催者側で用意をし、それを使っていただきます。なお、皮膚トラブルやアレルギーなどの関係で使用しているものがあれば、各自ご持参ください。なお、歯磨き粉は各自ご持参ください(感染症対策のため歯磨き粉も共有はしません。忘れた場合はブラッシングのみとなります)。
8. 荷物は2つに分けていただいても結構です。(例えば、ナップサックに入るだけ入れ、残りをスポーツバックやスーツケースに入れるなど)
9. 水着は、ドラム缶風呂体験で使用します。学校の授業で使用しているものをご持参ください。

指導法

トム・ソーヤー冒険隊は、子どもたちの好奇心や可能性をそぎ落としてしまわないように、できるだけ子どもたち自身で考え、行動できるように支援します。そのために子どもたちが知らないこと、できないことはしっかりアドバイスし、安全に活動ができるようにサポートします。

しかし、子ども達ができること、チャレンジしなくてはいけない場面では、子ども達がチャレンジできるまで待ち続けます。

子どもたちがその力を遺憾なく発揮できるように、安全面も含めて支援していくのがインストラクターです。大人の価値観や考え方を押し付けるのではなく、まずは子どもたちが考えてみるというスタンスで関わっていきます。

安全およびインストラクター

キャンプインストラクターは、OBS（公益法人日本アウトワード・バウンド協会）の指導者コース（ジャルト・JALT）を修了し、ロッククライミングや沢登り、マウンテンバイク、登山など野外活動における専門技術や指導法、救急法（日本赤十字社）救助法（レスキュー3）などを身につけ、二ヶ月以上におよぶ厳しい訓練を受けたプロフェッショナルです。コース中は、インストラクターの指導の下運営されます。また、期間中は1グループ（約8～10名）に1人のリーダーがつき、事前のアンケートの確認にはじまり、日々の報告会（個人健康報告・精神面や体力面の報告）まできめ細かく対応いたします。安心してご参加ください。

生活について

1. 1グループ約8人で活動をしていきます。また、グループにはリーダーと呼ばれる大学生が、衣食住を共に過ごし、精神面・肉体面のサポートをします。
2. 宿泊は、鶴学園八千代校舎で男女別に利用し、スタッフが付き添って就寝します。（布団完備してあります）
3. 入浴は、同校舎のシャワー利用並びにドラム缶風呂体験をします。
4. 食事は、基本的にグループごとにまきを使って野外炊飯を体験します。
5. 洗濯は、洗濯機の利用と洗濯板を使っての手洗いを併用し、各班おおむね3日に1回は、洗濯します。（原則として下着・靴下・タオルのみ）

安全・健康管理（スタッフの共通認識：スタッフ配布マニュアルより抜粋）

1. 安全対策

（1）動植物が要因となる危険

- ・有毒性の植物は、事前に現地調査を行い、できるだけ除去しておく。
- ・むやみに草むらや藪に立ち入らないよう指導する。
- ・危険な野生動物に出会った場合、及び巣等を発見した場合は、近寄らないよう指導し現地本部で対応する。

（2）気象条件等が要因となる危険

- ・大雨・・・ ラジオ放送，電話，インターネット等により気象情報を収集し，危険が予想される場合は適切な避難所に避難させる。
- ・落雷・・・ 雷雲が発生した場合は，直ちに建物内に避難させる。
- ・その他・・・ 帽子の着用，水分の補給，衣服の調整等について指導し，活動時間，休憩時間等についても配慮する。

（3）体調，用具，装備が要因となる危険

- ・健康状態のチェックを行い，体調の優れない者は早めに休ませる。
- ・火，刃物などの扱いについての事前指導を行い，正しい使用方法で使用させる。
- ・用具の整理整頓につとめさせる。

（4）疲労が要因となる危険

- ・規則正しい生活に努め，体調の維持に気をつける。
- ・睡眠時間の保証に気をつけさせる。

2. 健康管理

（1）健康観察

- ・参加者に，健康管理表の提出を求める。
- ・活動期間中，朝，夕の健康観察を行う。
- ・異常がある場合は，看護スタッフの指示を受ける。

（2）食中毒の防止

- ・手洗いを励行する。
- ・生水は大量には飲ませない。（お茶を本部で用意し，適宜支給する）
- ・食器の日光消毒を励行する。
- ・食事は必ず火を通したものとし，生で食することは避けさせる。
（野菜サラダ、果物は除く）
- ・食事はその都度調理させ，作りおきはさせない。
- ・食材は調理直前まで本部で管理し，必要に応じて支給する。

(3) 感染症の予防

- ・手洗い、うがいを敢行する。
- ・屋内の空気の入れ替えの実施。
- ・適宜水分補給を行う。

(新型コロナウイルス感染症対策は別紙詳細)

3. 緊急輸送

- ・事故等が発生し、医師等にかかる必要があると判断された場合は、事故発生時の手順に従って病院へ輸送する。

4. その他の事故や怪我、疾病について

- ・緊急を要する場合は、その場に居合わせたスタッフにより応急手当を施す。
- ・緊急は要しないが、医師の診察を受けた方が良いと判断された場合は、直接病院に連絡し、輸送する。
(保護者との連絡調整)
- ・病気や怪我による緊急の場合で保護者に連絡が取れない事態が発生した場合、医師等の診療・処置等をさせて頂くケースもあり得る。

5. 火災対策

- ・火災を起こさないように、指導を徹底する。
- ・火を扱う場所を決め、十分なスペースを確保する。
- ・炉場の近くに消火用の水バケツを用意しておく。
- ・万一火災が発生した場合は、直ちに全員を安全な場所に避難させ、火災発生時の手順に従って対応する。

6. スタッフへの安全教育

- ・スタッフは救急法講習会を受講する。
- ・緊急時の対応訓練を行う。
- ・事故発生伝達用の笛を携行する。

7. 参加者への安全教育

- ・安全確保の指導。
- ・用具の取り扱いについての指導。
- ・健康管理の指導。

傷害保険について

野外活動という性格上、自然から得る感動も大きいと共に様々な危険もはらんでいます。野外活動中の安全対策については、スタッフの安全教育の研修をはじめ、救急法の講習会を実施し、できる限りの配慮をした運営に努めさせていただきます。

しかし、万が一事故やけがが生じた場合、こちらで加入した傷害保険で対応させていただきますのでよろしくお願いいたします。

国内旅行傷害保険

死亡・後遺症	1000万円
入院	5,000円(1日につき)
通院	3,000円(1日につき)

- ※ 傷害保険ですので、風邪等の病気による通院などには適用されません。その場合は、自己負担とさせていただきます。
- ※ これ以上の保証については、各自任意で保険加入にご加入をお願いいたします。
- ※ この事業は、日常的に接する機会の少ない自然環境の下で実施されます。安全には万全を期してまいります。怪我に繋がるリスクが皆無とは言えません。大切な体験を優先する上で、こうしたリスクが伴うことをご理解の上参加くださるようお願いいたします。

P15の「安全と団体活動のルール」を親子でよく読んでおいてください。

参加費について

- 参加費 参加費は、指定期日までにお振込をお願いします。
- 振込金 63,800 円
- 振込先

口座名：トム・ソーヤー冒険隊 代表 西山和成（にしやま かずしげ）
銀行名： 広島銀行 福田支店
口座番号： 普通預金口座 3014601
※振込み手数料は、ご負担をお願いします。
※参加をされるお子様名義でお振り込み下さい。

- 振込み締切日
3月13日（水）

キャンセルについて

- 参加をキャンセルされる場合は、キャンセル待ちの方がいらっしゃいますので、できるだけ速やかにご連絡ください。また、当日急遽参加できなくなった場合も必ずご連絡ください。
※キャンセルの連絡等なくキャンセルされた場合、次回からのご参加をお断りさせて頂くこととなりますのでご注意ください。（電話又はメールにてキャンセルの連絡をお願い致します）
- キャンセル料金
開催日より算定して
20 日前～8 日前に取り消した場合、参加費の 20%
7 日前～2 日前に取り消した場合、参加費の 30%
前日に取り消した場合、参加費の 40%
開催日出発前に取り消した場合、参加費の 50%
開催後に取り消した場合、参加費の 100%

キャンプへの参加に係る同意事項について

参加にあたっては、以下の1～10のすべてに同意したものととして取扱いますので、必ずお読みになり、ご不明な点があれば、事前に事務局までお問い合わせください。

1. 参加者及びその保護者は、この事業のプログラムや活動内容について十分理解し、すべて自分の意思で参加するものであること。
2. 保護者は、もしも事故が発生した場合は、主催者が加入した保険のその範囲内で保証されることを承知していること。これ以上の保証を希望する場合は、保護者が任意で別途保険に加入すること。
3. 参加者及びその保護者は、この事業のプログラムは野外で行うものが多く、それらには危険がつきものであることを承知していること。設備や用具、活動内容などにおいて、参加者にとって危険や事故がないということが保証されるものではないということ。
4. 保護者は、参加者が第三者に与えた損害に対しては、責任をもって保証するということ。
5. 主催者は、安全面への配慮や天候などにより、プログラムの内容を予告なく変更する場合があること。
6. 参加者は、スタッフの意見、意思を尊重し、その指示に従うということ。また、安全のための決まりごと、約束ごとなどに従って行動することの重要性については十分理解をしていること。
7. 保護者は、参加者が発熱（37.5℃以上）等により、帰宅を余儀なくされた場合等のために、キャンプ期間中は、いつでも保護者等（親戚・信頼のおけるご友人等）が、キャンプ現地まで迎えに来ることができる体制を構築すること。
8. 保護者は、主催者が病気や怪我による緊急の場合で保護者に連絡が取れない事態が発生した場合、医師等の診療・処置等の依頼を主催者側に委任すること。
9. 主催者がプログラム実施中に撮影した参加者の写真、映像、音声等を広報や研究事業などに使用、複製、配布すること。

集合・解散

集合について（3/27（水））

【現地の場合】

11時10分 鶴学園八千代校舎（安芸高田市八千代町土師大迫 11144-1）

【無料送迎バスを利用の場合】

9時30分 広島駅新幹線口「ペDESTリアンデッキ2階中央サークル」集合

バスは10:00に出発します。

9:00ごろからスタッフがお待ちしています。

集合時間に遅れる場合は、「トム・ソーヤー冒険隊事務局」

当日専用携帯電話090-4144-0039までご連絡ください。

解散について（4/4（木））

【現地の場合】

14時50分 鶴学園八千代校舎 解散

【無料送迎バスを利用の場合】

16時45分 広島駅新幹線口「ペDESTリアンデッキ2階中央サークル」解散

迎えについては、解散時間に遅れないようにお願いします。

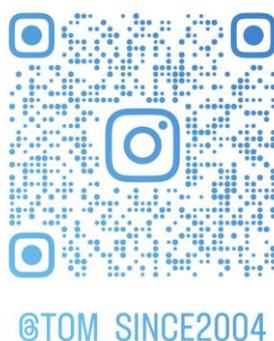
解散式後、保護者同伴の解散とさせていただきます。

- 道路事情によっては、到着時間が送れることがあります。
- 天候によっては、出発式・解散式は割愛させていただくことがあります。

※ 「広島駅⇄現地」の所要時間は、約1時間20分です。酔い止め等のご使用に留意ください。

その他

- (1) お子様に、アレルギー・喘息などによる生活環境への配慮や、その他、精神面・情緒的な面での配慮などが必要と思われる場合は、可能な限りお早めに、また、お気軽にご相談ください。
(食事でのアレルギー等がある場合は、メニュー調整可能です)
- (2) アンケートに回答いただきました住所等の個人情報は、個人情報保護法に基づき、他者へのデータの流出や物品の販売などの目的で使用することは一切ありませんのでご安心ください。
- (3) お預かりしたアンケート等は、1年間保管し、トム・ソーヤー冒険隊の主催の事業に参加される場合に使用します。年度終了後シュレッター処分をさせていただきます。
- (4) 忘れ物は1ヶ月間保管し、期限が過ぎた物は処分いたします。
- (5) 当日、発熱(37.5度以上)がある方やインフルエンザ等のウイルス性の病気と診断され、治癒証明が出ていない方の参加はできません。
また、参加中でも発熱がある場合、お迎えをお願いすることになりますのでよろしくお願い致します。(小・中学校と同じ対応にさせていただきます。)
但し、途中からの参加も可能です。体調には十分気を付けてご参加ください。
- (6) 期間中1日1~3回程度、活動の様子をインスタにて報告をさせていただきます。パソコンや携帯から確認可能ですのでお楽しみ下さい。



インスタQRコード

安全と団体活動のルール

1 ケガをしないために、危険な目にあわないために

- ① 服装（帽子、シャツ、ズボン、靴、靴下など）を考える
→ 身につける物は身を守る盾になる。頭を守る帽子、足を守る靴は必ず身につける。
- ② 無理なことをしない
→ 自分の体力を知る。山は登ったら下りなければならない。しっかり食べゆっくり寝る。
- ③ 危ないことをしない
→ まわりの何が危ないかを知る。とくに初めてのところは注意して行動する。なれたところも油断しない。木の枝や釣り竿などを振り回したりしない。立ち入り禁止の場所に行かない。
- ④ 転びそうになったら
→ 受け身のワザを身につけよう。その前に、まわりをよく見て行動しよう。
- ⑤ スタッフから急な指示があったら
→ 危険がさまっているので、すぐに指示どおりに行動する。
- ⑥ 包丁やナタなどの刃物は絶対に自分や人に向けない。用が済んだら本部に返す。
- ⑦ 何か分からない草や木、生き物にはさわらない。口に入れない。分からないときはスタッフに聞く。

2 団体活動のルール

- ① いつも2～3人のバディを組んで助け合って行動する。お互いに注意することを確かめあう。
- ② スタッフの説明の一つひとつをよく聞いて、言われたことはしっかりと守る。
- ③ 人が嫌がることはしない。悪ふざけをしない。
- ④ 班の生活やでは、お互いに助け合い、譲り合う。上級生は下級生の面倒をみてあげよう。

お家のみなさんへ

上の事柄を親子で一緒に読んで、よく確認してください。お子さんの体力や行動面で、日頃から気になっていることや学校からの指摘事項などがありましたら、安全のためにアンケートに記入するなどしてお知らせください。

連絡先一覧表

○ 学校法人鶴学園 八千代校舎 電話 0826-52-4757
FAX 050-3156-7532

広島県安芸高田市八千代町土師大迫11144-1 平日10時～17時 土・日・祭日休



【問い合わせ・連絡先】

トム・ソーヤー冒険隊事務局

〒731-0153 広島市安佐南区安東一丁目5-10 沖田ビル1F

TEL/FAX 082-555-0666

メール info@tom-camp.com

WEB <http://tom-camp.com>

※事務所は平日10時～17時 土・日・祭日休み

※担当：Tel 090-4144-0039 開催当日の緊急のみの携帯電話です。